



Cisco Networking Service 再試行/間隔指定の設定取得拡張

- [機能情報の確認, 1 ページ](#)
- [CNS 再試行/間隔指定の設定取得拡張について, 2 ページ](#)
- [CNS 再試行/間隔指定の設定取得拡張の設定方法, 2 ページ](#)
- [CNS 再試行/間隔指定の設定取得拡張の設定例, 3 ページ](#)
- [その他の関連資料, 4 ページ](#)
- [CNS 再試行/間隔指定の設定取得拡張の機能情報, 5 ページ](#)

機能情報の確認

ご使用のソフトウェア リリースでは、このモジュールで説明されるすべての機能がサポートされているとは限りません。最新の警告および機能情報については、『[Bug Search Tool](#)』およびご使用のプラットフォームとソフトウェア リリースに対応したリリース ノートを参照してください。このモジュールに記載されている機能の詳細を検索し、各機能がサポートされているリリースのリストを確認する場合は、このモジュールの最後にある機能情報の表を参照してください。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、www.cisco.com/go/cfn に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

CNS 再試行/間隔指定の設定取得拡張について

Cisco Networking Service 再試行/間隔指定の設定取得拡張

Cisco Networking Service 再試行/間隔指定の設定取得拡張機能は、**cns config retrieve** コマンドに新しい機能を追加して、トラステッドサーバから設定の取得を試行する再試行間隔および試行まで待機する時間（秒）を指定できるようにします。

CNS 再試行/間隔指定の設定取得拡張の設定方法

Cisco Networking Service 設定のサーバからの取得

コンフィギュレーションサーバにデバイスの設定を要求するには、次の作業を実行します。**cns trusted-server** コマンドを使用して、どのコンフィギュレーションサーバが使用できるか（信頼できるか）を指定します。

はじめる前に

この作業では、トラステッドサーバが指定済みであることを前提としています。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **cns config retrieve {host-name | ip-address} [encrypt] [port-number] [page page] [overwrite-startup] [retry retries interval seconds] [syntax-check] [no-persist] [source interface name] [status url] [event] [inventory]**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例 : Device> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。 • パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	configure terminal 例 : Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 3	cns config retrieve { <i>host-name</i> <i>ip-address</i> } [encrypt] [<i>port-number</i>] [page <i>page</i>] [overwrite-startup] [retry <i>retries</i> interval <i>seconds</i>] [syntax-check] [no-persist] [source <i>interface name</i>] [status <i>url</i>] [event] [inventory] 例 : Device(config)# cns config retrieve server1 retry 5 interval 45	デバイスが Web サーバから設定データを取得できるようにします。 • retry キーワードは、1 ～ 100 の範囲の数値で、1 ～ 3600 秒の範囲の interval の入力进行を要求します。 (注) トラブルシューティングのヒント 取得プロセスを停止する場合は、Ctrl+Shift+6 キーを入力します。

CNS 再試行/間隔指定の設定取得拡張の設定例

例 : Cisco Networking Service 設定のサーバからの取得

Cisco Networking Service トラストドサーバからの設定データの取得

次に、10.1.1.1 のトラストドサーバに設定を要求する例を示します。

```
cns trusted-server all 10.1.1.1
exit
cns config retrieve 10.1.1.1
```

次に、**cns config retrieve** コマンドを使用して、10.1.1.1 にあるトラストドサーバに設定を要求し、Cisco Networking Service 設定取得間隔を設定する例を示します。

```
cns trusted-server all 10.1.1.1
exit
cns config retrieve 10.1.1.1 retry 50 interval 1500
CNS Config Retrieve Attempt 1 out of 50 is in progress
Next cns config retrieve retry is in 1499 seconds (Ctrl-Shift-6 to abort this command).
..
00:26:40: %CNS-3-TRANSPORT: CNS_HTTP_CONNECTION_FAILED:10.1.1.1 -Process= "CNS config retv",
    ipl= 0, pid= 43
00:26:40: %CNS-3-TRANSPORT: CNS_HTTP_CONNECTION_FAILED -Process= "CNS config retv",
    ipl= 0, pid= 43.....

cns config retrieve 10.1.1.1
```

取得したデータの実行コンフィギュレーション ファイルへの適用

次に、サーバから取得した設定データをチェックし、実行コンフィギュレーション ファイルにだけ適用する例を示します。Cisco Networking Service 設定エージェントは、設定データの取得に成功するか、または 5 回失敗するまで、30 秒間隔で設定データを取得しようとしています。

```
cns config retrieve 10.1.1.1 syntax-check no-persist retry 5 interval 30
```

取得データによるスタートアップコンフィギュレーションファイルの上書き

次に、スタートアップコンフィギュレーションファイルをサーバから取得した設定データで上書きする例を示します。この設定データは実行コンフィギュレーションには適用されません。

```
cns config retrieve 10.1.1.1 syntax-check no-persist retry 5 interval 30
cns config retrieve 10.1.1.1 overwrite-startup
```

その他の関連資料

関連資料

関連項目	マニュアルタイトル
Cisco IOS コマンド	『Cisco IOS Master Commands List, All Releases』
Cisco Networking Service コマンド：コマンド構文の詳細、コマンドモード、コマンド履歴、デフォルト設定、使用上の注意事項、および例。	『Cisco IOS Cisco Networking Services Command Reference』
Cisco Networking Service 設定エンジン（CE）	『Cisco CNS Configuration Engine Administrator Guide, 1.3』

標準および RFC

標準/RFC	タイトル
この機能によりサポートされる新規または変更された標準/RFC はありません。またこの機能による既存の標準/RFC のサポートに変更はありません。	--

MIB

MIB	MIB のリンク
この機能によってサポートされる新しい MIB または変更された MIB はありません。またこの機能による既存 MIB のサポートに変更はありません。	選択したプラットフォーム、Cisco ソフトウェア リリース、およびフィーチャセットの MIB を検索してダウンロードする場合は、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用します。 http://www.cisco.com/go/mibs

シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
シスコのサポートおよびドキュメンテーション Web サイトでは、ダウンロード可能なマニュアル、ソフトウェア、ツールなどのオンラインリソースを提供しています。これらのリソースは、ソフトウェアをインストールして設定したり、シスコの製品やテクノロジーに関する技術的問題を解決したりするために使用してください。この Web サイト上のツールにアクセスする際は、Cisco.com のログイン ID およびパスワードが必要です。	http://www.cisco.com/cisco/web/support/index.html

CNS 再試行/間隔指定の設定取得拡張の機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェア リリース トレインで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースだけを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェア リリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコ ソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、www.cisco.com/go/cfn に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 1 : Cisco Networking Service 再試行/間隔指定の設定取得拡張の機能情報

機能名	リリース	機能情報
Cisco Networking Service 再試行/ 間隔指定の設定取得拡張	Cisco IOS XE Release 2.1 12.4(15)T 12.2(33)SRC 12.2(33)SB 12.2(50)SY	Cisco Networking Service 再試行/間隔指定の設定取得拡張機能は、cns config retrieve コマンドに 2 つのオプションを追加して、トラステッドサーバから設定の取得を試行する再試行間隔および試行まで待機する時間（秒）を指定できるようにします。設定エージェントが到達不能サーバに対して試行し続けることがないように、再試行回数は 100 回に制限されています。cns config retrieve コマンドを強制終了するには、キーボードの Ctrl+Shift+6 の組み合わせを使用します。 この機能により、cns config retrieve コマンドが変更されました。